

THANK

11月15日号
地域連携室発行

退院後も つなぎます あなたの こととからだ



11月は、「霜月」とも言われるように、朝早いと外は霜が降り、なかなか布団から出たくなくなりますよね。本格的に寒さが増してきましたが、みなさんいかがお過ごしですか？なかなか寒さに負けてしまいがちな季節ですが、実は、空気も澄み頭も冴えて資格を取るには一番いい季節ですよ！さあ、今回も資格に挑戦した方のお話をうかがいました♪



特集！ 有資格者に聞く！

有田誠二さん 第2種 ME 技術実力検定

今回は、透析室の有田誠二さんに、第2種 ME 技術実力検定の資格についてお伺いしました。有田さん、こんにちは。今日はありがとうございます。

Q：今回は、第2種 ME 技術実力検定という資格についてですが、これはどういった内容の検定ですか？

A：第2種 ME 技術実力検定試験は日本生体医工学会が行っているもので、ME 機器・システムの安全管理を中心とした医用生体工学に関する知識を持ち、適切な指導のもとで、それを実際に医療で応用できる資質を検定するものです。臨床工学技士を目指す学生（私もその一人でした。）にとって実力を測る重要な検定でもあります。出題範囲が臨床工学技士の国家試験問題に近く例年 4000 名程度受験しており全国平均合格率は 40%前後です。医療従事者だけでなく医療機器メーカーにおいて製造、販売、修理などを行っている方など、医療に何らかの形で携わっている方も受験されているようです。

Q：そうですか。多職種の方が受験されるんですね。いつ頃、受験されたのですか？

A：短大3年生の時、国試対策の一環として、大学のカリキュラムに組み込まれていたので受験しました。



Q：どのような問題が出題されるのですか？

A：選択問題が120問と小論文があって医学的、理工学的な事や医療機器の原理・構造、保守点検に関する事など幅広い分野から出題されます。

Q：受験に際してどのような準備をしましたか？

A：試験の3ヶ月前から学科内で毎週模擬試験がありました。あまりにも出来なかったので一念発起して過去問を中心に勉強に取り組みました。2ヶ月位勉強したと思います。

Q：勉強にかかった費用はいくらですか？

A：受験料、交通費、宿泊費、参考書代など合わせて5～6万だったと思います。

Q：受験勉強をされる上で苦労したこととかはありますか？

A：どちらかと言えば文系なので、電気工学や生体工学といった工学系が特に苦手ではなかったかどりませんでした。

Q：第1種ME技術実力検定試験について教えてください。

A：受験資格は第2種ME技術実力検定資格の合格者もしくは臨床工学技士免許所有者で、より専門的な知識、技術が求められるだけでなく他の医療技術者に対して医療機器及び関連設備に関する教育、指導ができる資質があるかを問う試験のようです。

Q：最後に今後の抱負を教えてください。

A：医療機器のめざましい進歩に伴い、医療現場では多種多様な機器が使われています。そういった中で日々新しい情報を取り込み、工学的な視点から医療の現場に情報発信できたら良いと考えています。そして、日々の業務の中で常に機器の先には「患者様」がいることを強く意識して取り組んでいきたいと思っています。今後、機会があれば第1種ME技術実力検定にも挑戦してみたいと思います。

有田さん、どうもありがとうございました。

私達コメディカルも実際の現場で医療機器に接する機会がありますが、医療の進歩により、どんどん進化していく器械に戸惑うこともあり、日々勉強が必要であると感じています。今後、勉強会などを開いて知識を深める機会を作ってくれるとうれしいですね！



さて、来月のTTAK新聞は、
臨床検査科 松浦三智子さん
の検査技師の糖尿病研究会
「若鮎の会」について
お話を伺います。
お楽しみに！



TTAK新聞のバックナンバーは播磨病院ホームページ

<http://www.harima-hp.jp/main.htm> からご覧になれます。 BY S・M